

山本想太郎 (やまもと・そうたろう)

建築家 一級建築士

東京都国分寺市東元町2-13-13

tel / fax 042-325-4721

e-mail sotaro@atyam.net

山本想太郎設計アトリエ

HP: <http://atyam.net>

職歴

1966年 東京生まれ
1989年 早稲田大学理工学部建築学科 卒業
1991年 早稲田大学理工学研究科 (建築専攻) 修士課程修了
1991～2003年 株式会社 坂倉建築研究所 勤務
2003年～ プロスペクター・アソシエーション共同主宰
2004年～ 一級建築士事務所 山本想太郎設計アトリエ主宰
2005～2009年 『Detail Japan』誌、技術翻訳総監修
2006年～ 東洋大学 非常勤講師
2007年～ 日本建築学会 情報設計委員会 委員
2008年～ 明治大学 兼任講師
2011年～ 工学院大学 非常勤講師
2013年～ 日本建築家協会 デザイン部会長
2015年～ 芝浦工業大学 非常勤講師



主な作品等

※作品の画像・詳細については上記ウェブサイトをご覧ください

1991～2003年 坂倉建築研究所勤務。主な担当作品：「新宿南口サザンタワー・サザンテラス」
「関西エアポートワシントンホテル」 「東京国立近代美術館改修」 「菊池寛実記念智美術館」
2004年 「国分寺の家」
2005年 「板橋のリノベーション」
「汐留プラザビル」
2006年 「南洋堂ルーフラウンジ」
「空家プロジェクト」 (越後妻有アートトリエンナーレ2006出品作品)
「CONTACT-足湯プロジェクト」 (越後妻有アートトリエンナーレ2006出品作品)
2007年 「メゾン・ド・スリジェ」
「妻有田中文男文庫」
「浄土宗行念寺改修」
「プロスペクター展 Calculation ～建築の演算・都市の演算～」 (INAX: GINZA)
2008年 「Lighting Book展」 「カン・アイラン個展」 会場構成
「筑摩書房展示ブース」 (東京国際ブックフェア)
2009年 「日本橋大伝馬町プラザビル」
「はたのいえ」
「建具ノニワ」 (越後妻有アートトリエンナーレ2009出品作品)
2010年 「アイラン・カン内なる本棚展」 会場構成
「東映デジタルセンター」 内外装デザイン
2012年 川越市シンボルマーク
「オーストラリア・ハウス」 (アトリエ・イマムと共同実施設計・監理)
「建具ノモリ」 (越後妻有アートトリエンナーレ2012出品作品)
2013年 「アミュレット・ショップ」
「来迎寺」 (本堂・客殿・庫裏)
2014年 「HEADベストセクション賞2014展示ブース」
2015年 「清津倉庫美術館」
「素材の空間+HEADベストセクション賞2015」

著作等

『テクトニック・カルチャー』 (共訳、TOTO出版、2002年)
『10+1 35号 建築の技法』 (共編著、INAX出版、2004年)
『現代住居コンセプト』 (共編著、INAX出版、2005年)
『Detail Japan TALK』 (リード・ビジネス・インフォメーション、2007年)
『建築と植物』 (共著、五十嵐太郎編、INAX出版、2008年)
『建築家を知る／建築家になる』 (王国社、2010年)
『姜 愛蘭 内なる本棚』 (共著、NOHARA、2010年)
『建築設計のための行く見る測る考える』 (共著、鹿島出版会、日本建築学会編、2011年)
『異議あり！新国立競技場』 (共著、森まゆみ編、岩波書店、2014年)

授賞等

2012年 川越市シンボルマーク公募 最優秀
2013年 ヨーン・ウツォン国際建築賞 (オーストラリア建築家協会)
2015年 北米照明学会賞 (Award of Merit)
2015年 AACA賞 優秀賞 (日本建築美術工芸協会)

(2015年12月現在)